

やまぎん アジアニュース

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【香港駐在員事務所】

香港のトイレ事情について

1. はじめに

「^{ツェン}厠所革命」という言葉をご存知でしょうか？

私もつい最近知ったのですが、直訳すればトイレ革命。中国本土で2015年から中国政府が進めている公衆トイレ美化運動のことです。主に観光地や都市部が対象で、既に約6万8,000カ所の公衆トイレを改修、新設しています。更に今年11月には、習近平国家主席による重要指示として、観光地や都市部だけでなく農村部でもトイレ革命を推進するよう、国営テレビのトップニュースでも伝えられました。いまだに、汚いだけでなく外から丸見えといったトイレが地方都市や農村部には多く残っているようです。

香港ではさすがに外から丸見えというようなことはありません。しかし香港を訪れたことがある方ならお分かりになると思いますが、外出先で簡単にトイレが見つかりません。私は仕事柄、日本からのお客様をお連れすることも多いのですが、トイレのご案内に困ることがよくあります。

2. 香港のトイレ事情

簡単に香港のトイレ事情についてご紹介します。

まず基本的に、住居以外のトイレの多くは外から鍵がかけられるようになっています。不法侵入者や部外者の利用を防ぐためです。ホテルやショッピングモールなどのトイレは、設備も比較的新しく綺麗なところも多いですが、香港全体としては外出先で使うトイレは清掃が行き届いておらず、また利用者の方にも問題があると思いますが清潔とは言い難い状況です。また、公園内や街市（がいし）と呼ばれるローカル市場にあるような公衆トイレにはトイレットペーパーが設置されていないことが多く、レストラン街にあるような共同トイレでもトイレットペーパーがない場合があります。

トイレに関して日本からのお客様からよく尋ねられるのが洗浄機付きトイレです。統計などはありませんが、香港における洗浄機付きトイレの普及はまだまだこれからです。この原因は、香港の水事情にも関係しています。香港は湖、河川、地下水といった水資源に乏しく、生活用水の約7割を中国広東省からの輸入に頼っています。このような事情から、香港のトイレには海水が利用されています。そのため直接ウォッシュレットを設置すると

海水で機械がすぐ壊れてしまうので、洗浄機付きトイレ用の水は上水道から取り入れるよう別の工事が必要になります。従って、極僅かな高級ホテルや富裕層向けのマンションなどでしか設置されていないというのが現状です。

3. 外出先でトイレを利用できる場所

基本的には、出発前のホテルや訪問先、食事をしたレストランなどで済ませておくことをお勧めしますが、実際に香港に来られた際に困ることがないように、外出先で比較的気軽にトイレが利用できる場所をご紹介します。

●ホテル

香港は観光地であり、観光客がトイレに困る事情にも理解がありますので、宿泊者でなくてもトイレの利用には寛容なところが多いです。

●ショッピングモール

香港は買い物の街でもありますので、九龍サイド、香港島サイドを問わず大通り沿いにはショッピングモールが多くあります。大抵のショッピングモールのトイレは鍵がかかっておらず自由に利用できます。鍵がかかっていたとしても、近くのショップのスタッフに事情を話せば鍵を貸してくれます。但し注意すべきは、本当に入って良い場所なのか迷うほどのバックヤードにあることが多く、特に慣れていない観光客には分かりづらいことです。

●公衆トイレ

観光地や公園などにあり、見つければ使うこともありますが、あまり綺麗ではありません。トイレットペーパーも基本的になく、ポケットティッシュが必須です。

●その他

食事をしたレストランなどのトイレは勿論利用できますが、この場合はスタッフに言って鍵を借りて利用します。以外と高級店でも汚いところがあり、がっかりさせられることがあります。また、日本では駅に行けばトイレがあるという感覚がありますが、香港の駅（地下鉄）には基本的に利用できるトイレはありません。（最近建てられた新しい駅や一部の駅にはあるようですが）

4. 終わりに

中国の「厕所革命」の話を知ったとき、新入社員時代に上司から「お取引先の事務所に訪問したらトイレを借りて、綺麗かどうかを見るものだ」と言われたことを思い出しました。また、ある経営者の方は「事務所や工場のトイレは質素でよく、隅々まで行き届いた清掃がしてあることの方が大事」と教えていただきました。今思えば、これは非常に日本的な考え方なのかもしれません。しかし、だからこそ本質的に必要で良いモノやサービスを生み出し、海外で認められてきたのでしょう。評価は別として、中国で新しくできたトイレにはシャンデリアが付き、冷暖房やWi-Fiを完備しているものまであるそうです。

中国の農村部などはインフラがまだ一定水準にありませんが、香港は20~30年前に一定水準のインフラ整備は完了しており、既に老朽化が問題になってきています。香港ではトイレもそうですが、エレベーターやエスカレーターが同様の問題を抱えています。これか

ら中国農村部のインフラ整備は中国政府主導の下どんどん進んでいくと思いますが、香港のような状態は民間に解決を任せている状態であり中々進んでいくとは思えません。ですが、誰もが感じる潜在的なニーズがそこにあるのは事実です。これは香港に限ったことではなく、台湾や韓国、東南アジアの都市部でも言えるのではないのでしょうか。

民間レベルで取り組まなければならないインフラ問題は、当然コストなども含め厳しい条件となりますが、そのような状況でも良いモノやサービスを提案できる企業には今後も継続的にチャンスがあり、日系企業にも大いにチャンスがあると思います。また、日本では洗浄機付きトイレを始めとして便座カバーなどトイレ関連グッズも豊富にありますが、香港ではあまり普及していません。香港の一般家庭ではシャワーとトイレが一緒のユニットタイプが主流ということも大きな要因ですが、日本の文化や日本の暮らしが好きで年に何回も訪日旅行に出かける香港人にはもっと普及してもおかしくないと感じます。

【参考文献】

- ・日経新聞電子版 2017年11月27日記事
「習近平「トイレ革命」指示 国民生活重視を演出」